

< もくじ >	
1. 2025年度連続講座開催のお知らせ（再掲）	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3
4. 事務局からのお知らせとお願い	4

1. 2025年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part4」開催のお知らせ（再掲）

人生100年時代が現実のものとなったとはいえ、いつまでも元気で活動し続けることは困難です。歳を重ねれば心身機能が低下し、人生の最終段階には他者の助けが必要になり、その後に訪れる死への準備も欠かせません。親、きょうだい、配偶者、そしてあなた自身の人生の最終段階を悔いのないものにするうえで、この講座がお役に立てることを願っております。

《講演内容・日程（開催時間は、全て14:00~16:00）》

- ◆第1回 9月27日（土） 袖井 孝子（シニア社会学会会長 東京家政学院大学特別招聘教授）
テーマ：「終活のすすめ～悔いのない人生の締めくくりに～」
- ◆第2回 10月18日（土） 谷口 佳充（三井住友信託銀行 人生100年応援部特別理事
法制審議会民法〈遺言関係〉部会委員）
テーマ：「超高齢社会のおカネと相続/死後事務～Advance Life Planning のススメ～」
- ◆第3回 11月8日（土） 中村 昌子（シニア社会学会理事 グリーフカウンセラー
上智大学グリーフケア研究所認定臨床傾聴士）
テーマ：「グリーフケアとグリーフワークの基礎知識」

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

□主 催：一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□会 場：東京家政学院大学三番町キャンパス1602教室、Zoom 併用によるハイブリッド開催

□参加費：会員・非会員：各回1,000円（学生：無料）

□申込方法：

①Peatix で申し込まれる場合（会場参加・オンライン参加）

<https://renzokukouza.peatix.com/>

②Eメールで申し込まれる場合

シニア社会学会Eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）へ以下の事項を記載し、お申込み下さい。

- ・お名前
- ・参加区分（会員/非会員/学生【大学名と学部を明記】）
- ・参加講座（第一回/第二回/第三回）
- ・参加方法（会場参加/オンライン）オンライン参加の方は事前に参加費をお振込みください。

※ 詳細については同報のチラシをご覧ください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第59回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年8月23日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第一グループ活動室
- 3) 発表者：YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ：人形劇その他

劇団 「^{びしょうざ}B笑座」

認知症を可視化し、人形劇、寸劇などを行います。劇団員募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) までお願い致します。

(2) 第60回「社会情報」研究会開催のお知らせ(再掲)

- 1) 日 時：2025年8月27日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員で検討
- 4) 概 要：「高齢者に対する、SNS やメールを通じた詐欺やその他、気になる事例を調査」

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(3) 第172回 「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年8月27日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：石田路子(NPO 法人高齢社会をよくする女性の会副理事長)
- 3) テーマ「介護保険サービス利用者実態調査(2024年7月実施)を考える」
- 4) オンラインで開催いたします。

※ 参加を希望される方は、阿部 (fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp) にご連絡ください。
資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(4) 第78回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年8月27日(水) 18:00~20:00
- 2) 場 所：早稲田大学早稲田キャンパス3号館604教室
(開催場所がいつもと異なっておりますのでご注意ください)
対面とZoomのハイフレックス開催

3) テーマ：「能登半島巡検の振り返り」

※ ご連絡ご質問は 松村 治 o.matsumura@kurenai.waseda.jp までお願い致します。

(5) 第109回 「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日時：2025年9月18日(木) 15:00~18:00
(注：8月は休会です)

2) 会場：早稲田大学 国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：コミュニティ発達の鍵となる社会関係資本の蓄積と活性化

4) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(6) 第65回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年9月24日(水) 17:30~19:30 Zoom 開催
- 2) テーマ：読書会：久坂部羊(くさかべよう)「人はどう死ぬのか」「人はどう老いるのか」
(講談社現代新書) 担当：柴本淑子(当学会理事)

※ ご連絡ご質問は、中村昌子 (nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願い致します。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第77回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年7月9日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：野坂 真（青森公立大学経営経済学部地域みらい学科准教授）
- 3) タイトル：「東日本大震災の災害伝承に向けた次世代との取り組み 《中間報告》
—大槌町安渡地区伝承マップの作成と活用を事例に—」
- 4) 場 所：早稲田大学26号館1102会議室

高校生、大学生が震災や被災地域とどのように関わろうとしているか、教諭へのインタビュー、参与観察の結果からは、彼ら自身の経験が発災直後や災害前のまちの歴史とも地続きであることを理解することが重要と考え、そのためのツールとして伝承マップを作成した。伝承マップ作成の背景としては、報告者と大槌町安渡地区との「安渡地区津波防災計画」づくりと、「安渡地区アーカイブプロジェクト」を通じての長い関わりがある。「安渡地区アーカイブプロジェクトについては2013年から数年かけて地域に関する資料などを収集整理したものである。作成した伝承マップは安渡公民館、大槌町立公民館などに配布、安渡地区内の掲示板に掲示した。またそれを活用して中高生をまきこんだまちあるきと座談会を企画した。

座談会では安渡地区内にある災害伝承や地域文化の伝承につながる場所やものを地図に書き込むことについて検討した。伝承マップについてはさらに町内会他地区への横展開をする。また世代というより地域を超えた災害伝承として青森県むつ市で自主防災会や市役所とのつながりを構築中である。マップを活用したまちあるきがどのくらい世代を超えた災害伝承に有効かは8月以降に検証する。今後については安渡地区の伝承マップでは地域の歴史や文化に関する情報がもりこまれていないので歴史・文化に特化した伝承マップの作成も必要であると考え。

（松村 治 記）

(2) 第108回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日時：2025年7月24日（木） 15:00～18:00
- 2) 会場：早稲田大学国際会議場 4階第6共同研究室 出席者は8名
- 3) テーマと発表者：「バーナードの組織論とコミュニティの発達について」；森嶋由紀子
「近隣地区におけるコミュニティの発達・個人の発達の促進要因と阻害要因」；高須賀篤子
- 4) 発表の内容と討議、濱口座長のコメント

森嶋さんからは、複数の文献に基づき「行動科学的組織論」の出発点となり、バーナード革命と言われる程インパクトをもった理論を読み解く説明があった。①組織成立の三要素は協働意思、共通の目的、コミュニケーションである②組織の存続は内的均衡と外的均衡を維持することによって可能③公式組織は意識的に調整された2人またはそれ以上の人々の活動や諸力のシステム、非公式組織は個人の人格的接触や相互作用の総合、無意識的な社会過程④公式組織の3つの機能と非公式組織の4つの機能⑤コミュニティの発達には、社会の発達と成員のパーソナリティの発達の相互作用が必要である。

高須賀さんからは、コミュニティの本質を突いた疑問提示と質問が為された。

その後、組織論とコミュニティ活動の実際をめぐって活発な議論が交わされた。コミュニティの運営には、目的の共有や共同意識の強さ、ネットワークの広がりや強さ、コミュニケーションの濃淡で成果に差異が生じること。「共同」と「協働」は「何かを一緒に行うこと」では同じだが、「同じ」が強調されると、立場や役割が異なる人同士が目的のために力を合わせることの違いが提示され、参加者に啓示を与えた。

濱口座長のコメントは概略次のようでした。森嶋さんの文献資料を活用しながら「コミュニティとアソシエーションを対比した前回の報告」は、研究会のこれまでの蓄積を踏まえた論点が整理され、回顧しこれからを展開するマイルストーンであり、一つの到達点となっていた。今回の発表で準備すべき思考枠はほぼ提供されています。また、地震津波災害の石川県輪島市の避難所のコミュ

ニティとしての実際と文学作品「松本侑子著『なぞとき 赤毛のアン』ではコミュニティの息づかいを知ることが出来る」との教示があつた。

(安田和絃 記)

(3) 第58回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2025年7月26日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：人形劇、その他

(鈴木眞澄 記)

(4) 第64回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日時：2025年7月30日(水) 17:30~19:30 Zoom開催
- 2) テーマ：あなたの「死生観(感)」についてシェアしてみませんか。

担当：中村昌子(当学会理事)

「死」について改めて語り合う機会はなかなかない。また、「死について語ること」は躊躇され、忌避されてしまう一面もある。死別をはじめとする喪失の悲しみや老いの不安については、だれかれ構わず吐露できるものではないし、現実には死は病院や葬祭業者に委ねられ、コロナ禍以降はそれが顕著となってきた。また、残された遺族が抱えるグリーフに対して、その社会的支援はまだまだ脆弱であり、グリーフケア、グリーフワークを知らない人も多い。「身近な存在の死や様々な喪失感」を独りで抱え込み、誰にも気づかれないまま孤立してしまうこともあるだろう。「超高齢社会日本」では今後ますます、死についても気軽に意見交換でき、普通に語れる場が必要ではないだろうか。

今回のテーマは、「あなたの「死生観(感)」についてシェアしてみませんか」だった。

前半は、「死生学」という学問について、科目履修生として通っている大学院の「死生学演習」の授業から最新の話題やその動向について共有させていただいた。「死生学」の特徴を説明し、「死とテクノロジー」に特化した情報や知識も共有し、生成AIとVRによる故人の再現について、倫理的側面から議論があることも紹介した。後半のディスカッションでは、参加者がそれぞれの死生観や喪失体験をシェアした。・延命治療についてなど悔いが無いよう考えを纏め家族と話し合うことが肝心。・幼少時、川で溺れているところを救出された体験から以後の自分の【生】は「生かされている」という死生観があること。・尊敬していた恩師が闘病の末亡くなった体験とその深い喪失感。・実母の死を何とか乗り越えてきた辛い体験あり、「死者を情緒的に再配置する」「死者との関係性を共に生きる存在にする」というフレーズが心に響いた。・生成AIが寄り添う形で話し相手となり今後、役立つ存在になるのでは?など、重く語りにくいテーマだったが、ざっくばらんに語り合えた場は貴重だった。

(中村昌子 記)

4. 事務局からのお知らせとお願い

◆さわやか福祉財団「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025」開催のお知らせ

誰もがいきいきと地域とつながりながら暮らしていくために、どう取り組めばよいのか。全国各地で実践を重ねている地域づくり関係者の皆様に応援するため「いきがい・助け合いオンラインフェスタ」を開催します。テーマは、生活支援コーディネーターと協議体の取り組みや共生型居場所、有償ボランティアの進め方から企業との連携まで、各分野の具体事例をもとに、住民が主体的に参加する地域共生社会の実現に向けた多様なアプローチをご紹介します。

■主なテーマ（現段階の予定）

- ・オープニングフォーラム：「みんなの参加で地域共生社会を実現しよう」
- ・特別トーク：各分野の代表者による特別講演
- ・学ぼう編：8テーマ
- ・語ろう編(ライブ配信)：3テーマ

■開催概要

- ・開催期間：2025年10月14日（火）～10月23日（木）
※ 11月30日（日）までライブ配信を除くすべてのプログラムがアーカイブ配信で視聴可能
- ・開催方法：完全オンライン配信形式
- ・申込期間：2025年8月14日（木）～10月23日（木） ※予定
- ・参加費：1,000円（税込）
※ 参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。
※ 後日希望者にダイジェスト資料を送付予定
- ・主催：さわやか福祉財団（シニア社会学会後援）

■問い合わせ先

いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025事務局 メール：festa@sawayakazaidan.or.jp
特設 URL <https://festa.sawayakazaidan.or.jp/>

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

<2025年9月 JAAS News の発行日>

次回 JAAS News 第313号の発行日は、2025年9月17日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、9月12日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/